

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	沼津情報・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程 (工業)	高度 IT ビジネス科	夜・通信	2,370	320	
	コンピュータ科	夜・通信	420	160	
	ゲームクリエイト科	夜・通信	1,500	240	
	CG デザイン科	夜・通信	1,740	240	
専門課程 (商業実務)	ビジネス科	夜・通信	1,290	160	
	公務員科1年制	夜・通信	120	80	
	公務員科2年制	夜・通信	210	160	
	医療事務科	夜・通信	810	160	
	国際ビジネス科	夜・通信	760	240	
専門課程 (教育・社会福祉)	こども保育科	夜・通信	1,625	240	
専門課程 (衛生)	製菓・製パン科	夜・通信	2,040	160	
(備考) 国際ビジネス科については、2019年度よりの開設の3年制学科であり、今年度は1・2年生のみの在籍となっている。3年生の授業担当者は今年度中に決定される予定である。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公開ページトップ https://www.numasen.ac.jp/public/
[高度 IT ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/WE_T.pdf
[コンピュータ科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/WE_C.pdf
[ゲームクリエイト科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/WE_G.pdf
[CG デザイン科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/WE_M.pdf
[ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/WE_B.pdf
[公務員科 1 年制] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/WE_J.pdf
[公務員科 2 年制] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/WE_K.pdf
[医療事務科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/WE_A.pdf
[国際ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/WE_U.pdf
[こども保育科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/WE_Y.pdf
[製菓・製パン科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/WE_P.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	沼津情報・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人静岡理工科大学のホームページ (http://www.sist-net.ac.jp/joho.html) にて「役員名簿」を公開
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	物流等関連企業 代表取締役会長	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見 財務担当
非常勤	食品等関連企業 代表取締役会長	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	自動車部品等関連企業 代表取締役会長	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	物流等関連企業 相談役	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	学校法人 常任理事	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	銀行業 取締役専務執行役員 ※～令和2年6月18日 証券業 代表取締役社長 ※令和2年6月19日～	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	冷蔵倉庫業 取締役社長	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	システム関連企業 代表取締役社長	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見 情報 IR 担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	沼津情報・ビジネス専門学校（全学科）
設置者名	学校法人静岡理工科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)の作成過程および公表について</p> <p>4月～ 次年度授業計画策定</p> <p>4月～ 教員への授業計画(シラバス)作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画(シラバス)テンプレート配布 ・ 授業計画(シラバス)ガイドライン配布・説明 <p>7月～ 授業計画(シラバス)回収・チェック</p> <p>9月～ 授業計画(シラバス)見直し・修正</p> <p>3月～ 授業計画(シラバス)公表</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>公開ページトップ https://www.numasen.ac.jp/public/</p> <p>[高度ITビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/T2020.pdf</p> <p>[コンピュータ科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/C2020.pdf</p> <p>[ゲームクリエイト科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/G2020.pdf</p> <p>[CGデザイン科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/M2020.pdf</p> <p>[ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/B2020.pdf</p> <p>[公務員科1年制] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/J2020.pdf</p> <p>[公務員科2年制] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/K2020.pdf</p> <p>[医療事務科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/A2020.pdf</p> <p>[国際ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/U2020.pdf</p> <p>[こども保育科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/Y2020.pdf</p> <p>[製菓・製パン科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/P2020.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)			
<p>各学科の定めるディプロマポリシー（卒業認定・高度専門士／専門士授与の方針）に掲げる資質・能力の習得状況等は、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）の「成績評価の方法」掲げる方法に加え、学生生活上の客観的な指標、卒業対象学生に行うアンケート調査の状況、各種資格取得状況・制作した作品のレベルと志望進路状況（専門領域への就職率および進学率等）から学業成果の達成状況进行评估する。</p>			
<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>			
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)			
<p>成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。</p>			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
<p>成績評価指数 = ((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数)) ÷ 科目数</p>			
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2020/07/Perfindex.pdf		
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>			
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)			
<p>本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。 全校共通および各科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得(不可科目がないこと)した者に卒業を認定している。</p>			
(卒業要件)			
<p>卒業認定は以下のすべてに該当するもので、校長が認めた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 必修科目及び選択必修科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと 2 総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること 3 査定日現在で学納金に未納がないこと <p>卒業の認定については、担当が卒業要件の確認を行った上で、卒業査定会議において協議し、校長が判定を行う。</p>			

卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>公開ページトップ https://www.numasen.ac.jp/public/</p> <p>[高度 IT ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/DP_T.pdf</p> <p>[コンピュータ科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/DP_C.pdf</p> <p>[ゲームクリエイト科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/DP_G.pdf</p> <p>[CG デザイン科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/DP_M.pdf</p> <p>[ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/DP_B.pdf</p> <p>[公務員科 1 年制] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/DP_J.pdf</p> <p>[公務員科 2 年制] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/DP_K.pdf</p> <p>[医療事務科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/DP_A.pdf</p> <p>[国際ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/DP_U.pdf</p> <p>[こども保育科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/DP_Y.pdf</p> <p>[製菓・製パン科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/DP_P.pdf</p>
------------------	--

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	沼津情報・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://sist-net.ac.jp/kessan.html
収支計算書又は損益計算書	http://sist-net.ac.jp/kessan.html
財産目録	http://sist-net.ac.jp/kessan.html
事業報告書	http://sist-net.ac.jp/kessan.html
監事による監査報告（書）	http://sist-net.ac.jp/kessan.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	コンピュータ科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,040 単位時間	1,050 単位時間	1,350 単位時間			
			2,400 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		112人	0人	5人	12人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 授業計画（シラバス）の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画策定 4月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明 7月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック 9月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正 3月～ 授業計画（シラバス）公表
成績評価の基準・方法
(概要) 成績は科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。 不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は4段階の評語で表示される。

評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0

成績評価指数 = $((4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数})) \div \text{科目数}$

卒業・進級の認定基準

(概要)

本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

学修支援等

(概要)

- ・指導教員との面談
- ・習熟度別の補習
- ・勉強会

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
60人 (100%)	0人 (0%)	59人 (98.3%)	1人 (1.7%)
(主な就職、業界等) 矢崎総業(株)、明電システムソリューション(株)、臼井国際産業(株)、テックインフォメーションシステムズ(株)、東京コンピュータサービス(株)、協立電機(株) (株)コスモコンピューティングシステム、(株)メトロ、(株)建設システム など			
(就職指導内容) 自己分析、スーツ・メイク講座、業界・企業研究、筆記試験対策、面接指導、エントリーシート・履歴書添削指導、模擬面接、校内企業ガイダンス、電話・メールでの問合せ他			
(主な学修成果（資格・検定等）) 基本情報技術者試験 17人 C言語検定 2級 20人 CompTIA 60人			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
120人	1人	0.8%
中途退学の主な理由) 進路変更の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリングの実施、担当教官・教務課長等による面談		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士					
工業	専門課程	高度 IT ビジネス科		○					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
4年	昼	3,720 単位時間	2,010 単位時間	1,710 単位時間					
			3,720 単位時間						
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数				
80人	79人	0人	4人	18人	22人				

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)																				
(概要) 授業計画 (シラバス) の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画策定 4月～ 教員への授業計画 (シラバス) 作成依頼 ・授業計画 (シラバス) テンプレート配布 ・授業計画 (シラバス) ガイドライン配布・説明 7月～ 授業計画 (シラバス) 回収・チェック 9月～ 授業計画 (シラバス) 見直し・修正 3月～ 授業計画 (シラバス) 公表																				
成績評価の基準・方法																				
(概要) 成績は科目ごと4段階評語 (優・良・可・不可)、素点 (0～100点) による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階の評語で表示される。																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>素点</th> <th>意味</th> <th>ポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td> <td>80～100点</td> <td>到達目標をほぼ達成している。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>70～79点</td> <td>不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>60～69点</td> <td>到達目標の最低限は満たしている。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0～59点</td> <td>到達目標を充足していない。</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	評語	素点	意味	ポイント	優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4	良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2	可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1	不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
評語	素点	意味	ポイント																	
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4																	
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2																	
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1																	
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0																	
成績評価指数 = $(4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数}) \div \text{科目数}$																				
卒業・進級の認定基準																				
(概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。																				

学修支援等
(概要) ・指導教員との面談 ・習熟度別の補習 ・勉強会

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	0人 (0.0%)	13人 (100%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) NTT データ先端技術(株)、日本システムウェア(株)、テックインフォメーションシステムズ(株) TIS ソリューションリンク(株)、(株)静岡情報処理センター、(株)TOKAI コミュニケーションズ			
(就職指導内容) 自己分析、スーツ・メイク講座、業界・企業研究、筆記試験対策、面接指導、エントリーシート・履歴書添削指導、模擬面接、校内企業ガイダンス、電話・メールでの問い合わせ 他			
(主な学修成果（資格・検定等）) 安全確保支援士試験1名、応用情報技術者試験2名、 基本情報技術者試験8名、ITパスポート9名 等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72人	1人	1.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリングの実施、担当教官・教務課長等による面談		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	CGデザイン科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,090 単位時間	510 単位時間	2,460 単位時間	780 単位時間	単位時間	単位時間
		3,750 単位時間					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	77人	0人	3人	17人	20人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
(概要) 授業計画（シラバス）の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画策定 4月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明 7月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック 9月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正 3月～ 授業計画（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
(概要) 成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評語の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
$\text{成績評価指数} = ((4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数})) \div \text{科目数}$			
卒業・進級の認定基準			
(概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。			
<ul style="list-style-type: none"> ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 			
本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。			
学修支援等			
(概要) ・指導教員との面談 ・習熟度別の補習 ・勉強会			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他

22人 (100%)	0人 (0%)	19人 (86.4%)	3人 (13.6%)
(主な就職、業界等) (株)バイキング、(株)ラークスエンタテインメント、(株)ピコナ、(株)ユピテルプラス (株)スカラベスタジオ、(株)トリスラッシュ、図書印刷(株)、(株)エストラスト、大和印刷(株)			
(就職指導内容) 自己分析、スーツ・メイク講座、業界・企業研究、筆記試験対策、面接指導、エントリーシート・履歴書添削指導、模擬面接、校内企業ガイダンス、電話・メールでの問い合わせ 他			
(主な学修成果(資格・検定等)) CGクリエイター検定 エキスパート2名 ベーシック22名 色彩検3級 20名、色彩検定2級 7名、DTP検定 6名			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
78人	6人	7.7%
(中途退学の主な理由) 病気療養、進路変更、金銭的事由の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による出欠席状況の管理と指導。面談の実施。カウンセリング。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	ゲームクリエイト科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,060 単位時間	510 単位時間	2,520 単位時間	540 単位時間		
			3,570 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		92人	0人	2人	12人	14人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画 (シラバス) の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画策定 4月～ 教員への授業計画 (シラバス) 作成依頼 ・授業計画 (シラバス) テンプレート配布 ・授業計画 (シラバス) ガイドライン配布・説明 7月～ 授業計画 (シラバス) 回収・チェック 9月～ 授業計画 (シラバス) 見直し・修正 3月～ 授業計画 (シラバス) 公表

成績評価の基準・方法			
(概要)			
成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数			
卒業・進級の認定基準			
(概要)			
本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。			
<ul style="list-style-type: none"> ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 			
本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。			
学修支援等			
(概要)			
<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員との面談 ・家庭連絡により保護者と連携して指導 			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	0人 (0%)	25人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
富士通データセンターサービス(株)、TOKAI コミュニケーションズ、(株)ウエルストーン (株)アウトソーシングテクノロジー、スルガコンピューターサービス(株)			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員・就職担当職員による面接指導 ・学校全体によるSPI試験や適性検査の実施 ・学校による独自の就職ガイダンスの開催 			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 基本情報技術者試験 6 人 C 言語検定 2 級 41 人 CG エンジニア検定エキスパート 1 人
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
81 人	2 人	2.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、金銭的事由の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を取っており担任が毎日の出欠席をチェックしている。担任が授業の欠課数に応じて保護者連絡や保護者を交えた 3 者面談を実施している。 さらに、毎週の系会議や運営会議に生徒動向について報告、対応策を検討している。また、精神的な悩みを持っている生徒に対し、学校専属のカウンセラーにて週 1 回希望者に向けてカウンセリングを受けることができる仕組みを取り入れている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	医療事務科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2,040 単位時間	420 単位時間	1,470 単位時間	150 単位時間	単位時間	単位時間
		2,040 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		57 人	0 人	3 人	13 人	16 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画 (シラバス) の作成過程および公表について 4 月～ 次年度授業計画策定 4 月～ 教員への授業計画 (シラバス) 作成依頼 ・授業計画 (シラバス) テンプレート配布 ・授業計画 (シラバス) ガイドライン配布・説明 7 月～ 授業計画 (シラバス) 回収・チェック 9 月～ 授業計画 (シラバス) 見直し・修正 3 月～ 授業計画 (シラバス) 公表
成績評価の基準・方法
(概要) 成績は、科目ごと 4 段階評語 (優・良・可・不可)、素点 (0~100 点) による評価で表す。不可及び 59 点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4 段階評語の評語

で表示される。

評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0

成績評価指数 = $((4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数})) \div \text{科目数}$

卒業・進級の認定基準

(概要)

本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

学修支援等

(概要)

- ・指導教員との面談
- ・家庭連絡により保護者と連携して指導

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	0人 (0%)	25人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等)

医療法人社団親和会 西島病院、社会医療法人青虎会 フジ虎ノ門整形外科病院
(医)社団英志会富士整形外科病院
医療社団法人アール・アンド・オー 静清リハビリテーション病院
医療法人社団英志会 フジ整形外科病院 ほか

(就職指導内容)

就活ゼミでの面接指導や履歴書の書き方指導をはじめ、スーツ講座、メイク講座、模擬面接で就職活動の基本を身に付ける。また、校内企業ガイダンスに参加することで、実践的な企業研究を行う。

(主な学修成果(資格・検定等))

診療報酬請求事務能力認定試験 12名
医師事務作業補助者認定 4名
医療秘書技能検定準1級 4名
医療秘書技能検定2級 13名

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56人	3人	5.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制を導入し、担任が毎日の出席チェックをしている。また、授業の欠課数に応じ、保護者連絡や保護者を交えた三者面談を行っている。更に、毎週の系会議や運営会議にて学生動向を報告し、対応策を検討している。学校カウンセラーの配置や、相談室の設置もあり、悩み相談の窓口を複数設けている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,040 単位時間	420 単位時間	1,470 単位時間	150 単位時間		
			2,040 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	59人	0人	3人	10人	13人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)			
(概要) 授業計画 (シラバス) の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画策定 4月～ 教員への授業計画 (シラバス) 作成依頼 ・ 授業計画 (シラバス) テンプレート配布 ・ 授業計画 (シラバス) ガイドライン配布・説明 7月～ 授業計画 (シラバス) 回収・チェック 9月～ 授業計画 (シラバス) 見直し・修正 3月～ 授業計画 (シラバス) 公表			
成績評価の基準・方法			
(概要) 成績は、科目ごと4段階評語 (優・良・可・不可)、素点 (0～100点) による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1

不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数 = ((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数			
卒業・進級の認定基準			
(概要)			
<p>本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>			
学修支援等			
(概要)			
<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員との面談 ・家庭連絡により保護者と連携して指導 			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	15人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(株)静岡中央銀行、沼津信用金庫、平野会計事務所、静岡日野自動車(株) 矢崎部品(株)裾野製作所、臼井国際産業(株)、富士宮通運(株)			
(就職指導内容)			
就活ゼミでの面接指導や履歴書の書き方指導をはじめ、スーツ講座、メイク講座、模擬面接で就職活動の基本を身に付ける。また、校内企業ガイダンスに参加することで、実践的な企業研究を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
ファイナンシャルプランニング技能検定 2級6名 3級17名、秘書検定 2級9名 3級14名 簿記検定 3級15名、リテールマーケティング検定 3級9名 コンピュータ会計能力検定 3級6名			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56人	2人	3.6%

(中途退学の主な理由) 進路変更、病気療養の為
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を取っており担任が毎日の出欠席をチェックしている。担任が授業の欠課数に応じて保護者連絡や保護者を交えた3者面談を実施している。 さらに、毎週の系会議や運営会議にて学生動向について報告、対応策を検討している。また、精神的な悩みを持っている学生に対し、学校専属のカウンセラーにて週1回希望者に向けてカウンセリングを受けることができる仕組みを取り入れている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	こども保育科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,135 単位時間	1,045 単位時間	1,760 単位時間	330 単位時間		
			3,135 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		79人	0人	8人	22人	30人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)																				
(概要) 授業計画 (シラバス) の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画策定 4月～ 教員への授業計画 (シラバス) 作成依頼 ・授業計画 (シラバス) テンプレート配布 ・授業計画 (シラバス) ガイドライン配布・説明 7月～ 授業計画 (シラバス) 回収・チェック 9月～ 授業計画 (シラバス) 見直し・修正 3月～ 授業計画 (シラバス) 公表																				
成績評価の基準・方法																				
(概要) 成績は、科目ごと4段階評語 (優・良・可・不可)、素点 (0～100点) による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評語の評語で表示される。																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>素点</th> <th>意味</th> <th>ポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td> <td>80～100点</td> <td>到達目標をほぼ達成している。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>70～79点</td> <td>不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>60～69点</td> <td>到達目標の最低限は満たしている。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0～59点</td> <td>到達目標を充足していない。</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	評語	素点	意味	ポイント	優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4	良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2	可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1	不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
評語	素点	意味	ポイント																	
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4																	
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2																	
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1																	
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0																	
成績評価指数 = ((4×優の科目数) + (2×良の科目数) + (1×可の科目数)) ÷ 科目数																				
卒業・進級の認定基準																				

<p>(概要)</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導教員との面談 ・家庭連絡により保護者と連携して指導

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
29人 (100%)	0人 (0%)	29人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 伊豆市役所、かきつばたこども園、天神保育園、富士宮市立保育園、桜ヶ丘幼稚園 いまいづみ幼稚園、松風荘 等			
(就職指導内容) ・指導教員・就職担当職員による面接指導 ・学校全体による SPI 試験や適性検査の実施 ・学校による独自の就職ガイダンスの開催			
(主な学修成果（資格・検定等）) 幼稚園教諭2種免許 26人 保育士 28人 社会福祉主事任用資格 29人 幼稚園・保育園のためのリミック指導資格1級 28人 幼児体育指導者資格 16人			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
89人	3人	3.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を取っており担任が毎日の出欠席をチェックしている。担任が授業の欠課数に応じて保護者連絡や保護者を交えた3者面談を実施している。 さらに、毎週の系会議や運営会議に生徒動向について報告、対応策を検討している。また、精神的な悩みを持っている生徒に対し、学校専属のカウンセラーにて週1回希望者に向けてカウンセリングを受けることができる仕組みを取り入れている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	製菓・製パン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,340 単位時間	1,290 単位時間	60 単位時間	990 単位時間		
			2,340 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		41人	0人	4人	11人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>（概要）</p> <p>授業計画（シラバス）の作成過程および公表について</p> <p>4月～ 次年度授業計画策定</p> <p>4月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明 <p>7月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック</p> <p>9月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正</p> <p>3月～ 授業計画（シラバス）公表</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>（概要）</p> <p>成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。</p>			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
$\text{成績評価指数} = ((4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数})) \div \text{科目数}$			
卒業・進級の認定基準			
<p>（概要）</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>			

学修支援等
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員との面談 ・家庭連絡により保護者と連携して指導

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	17人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 株式会社小田急リゾート、R&Mリゾート株式会社、イデミ・スギノ トシヨロイズカ、(株)東急ホテルズ、(株)東急リゾートサービス 等			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員・就職担当職員による面接指導 ・学校全体によるSPI試験や適性検査の実施 ・学校による独自の就職ガイダンスの開催 			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
製菓衛生師 18名 サービス接遇検定2級 8名			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由) 退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>担任制を取っており担任が毎日の出欠席をチェックしている。担任が授業の欠課数に応じて保護者連絡や保護者を交えた3者面談を実施している。</p> <p>さらに、毎週の系会議や運営会議に生徒動向について報告、対応策を検討している。また、精神的な悩みを持っている生徒に対し、学校専属のカウンセラーにて週1回希望者に向けてカウンセリングを受けることができる仕組みを取り入れている。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士					
商業実務	専門課程	公務員科1年制							
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
1年	昼	1,020 単位時間	810 単位時間	210 単位時間					
		1,020 単位時間							
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数				
10人	6人	0人	3人	10人	13人				

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>（概要）</p> <p>授業計画（シラバス）の作成過程および公表について</p> <p>4月～ 次年度授業計画策定</p> <p>4月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明 <p>7月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック</p> <p>9月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正</p> <p>3月～ 授業計画（シラバス）公表</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>（概要）</p> <p>成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評語の評語で表示される。</p>			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
$\text{成績評価指数} = ((4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数})) \div \text{科目数}$			
卒業・進級の認定基準			
<p>（概要）</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>			
学修支援等			
<p>（概要）</p> <p>指導教員との面談／習熟度別の補習／勉強会</p>			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0.0%)

(主な就職、業界等) 大和冷機工業(株)、ALSOK 静岡(株)、(株)すみや電器
(就職指導内容) 面接対策など
(主な学修成果 (資格・検定等))
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) 退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリングの実施、担当教官・教務課長等による面談		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士				
商業実務	専門課程	公務員科 2 年制	○					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2,040 単位時間	1,770 単位時間	270 単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	2,040 単位時間
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
20 人	36 人	0 人	3 人	10 人	13 人			

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画 (シラバス) の作成過程および公表について 4 月～ 次年度授業計画策定 4 月～ 教員への授業計画 (シラバス) 作成依頼 ・授業計画 (シラバス) テンプレート配布 ・授業計画 (シラバス) ガイドライン配布・説明 7 月～ 授業計画 (シラバス) 回収・チェック 9 月～ 授業計画 (シラバス) 見直し・修正 3 月～ 授業計画 (シラバス) 公表
成績評価の基準・方法
(概要) 成績は、科目ごと 4 段階評語 (優・良・可・不可)、素点 (0～100 点) による評価で表す。不可及び 59 点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4 段階評語の評語で表示される。

評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0

成績評価指数 = ((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数

卒業・進級の認定基準

(概要)

本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

学修支援等

(概要)

指導教員との面談／習熟度別の補習／勉強会

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	就職者数		
	進学者数	(自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	1人 (5.3%)	17人 (89.4%)	1人 (5.3%)
(主な就職、業界等) 防衛省・自衛隊（事務官、自衛官）、富士宮市役所、熱海市役所、静岡市上下水道局			
(就職指導内容) 面接対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 漢字検定（3人）、ワープロ検定（14人）、文章検定（16人） Microsoft Office Specialist Excel（6人）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19人	0人	0.0%

(中途退学の主な理由) 退学者なし
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリングの実施、担当教官・教務課長等による面談

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	国際ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,430 単位時間	1,730 単位時間	770 単位時間			
			2,500 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		38人	38人	2人	9人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>(概要)</p> <p>授業計画（シラバス）の作成過程および公表について</p> <p>4月～ 次年度授業計画策定</p> <p>4月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明 <p>7月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック</p> <p>9月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正</p> <p>3月～ 授業計画（シラバス）公表</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>(概要)</p> <p>成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。</p>			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
$\text{成績評価指数} = ((4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数})) \div \text{科目数}$			
卒業・進級の認定基準			
<p>(概要)</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p>			

<ul style="list-style-type: none"> ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>
学修支援等
(概要) 指導教員との面談／習熟度別の補習／勉強会

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
-人 (-%)	-人 (-%)	-人 (-%)	-人 (-%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）) 日本語能力試験N2（3人）、N3（4人）			
(備考)（任意記載事項） 新設学科のため、令和元年度は1年生のみの在籍であるため卒業生はおりません。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	2人	10.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリングの実施、担当教官・教務課長等による面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
高度 IT ビジネス科	250,000 円	840,000 円	円	
コンピュータ科	250,000 円	920,000 円	円	
ゲームクリエイト科	250,000 円	920,000 円	円	
CG デザイン科	250,000 円	960,000 円	円	
ビジネス科	200,000 円	920,000 円	円	
医療事務科	200,000 円	920,000 円	円	
公務員科	200,000 円	920,000 円	円	
こども保育科	200,000 円	700,000 円	円	
製菓・製パン科	200,000 円	980,000 円	円	
国際ビジネス科	150,000 円	680,000 円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
本校では人物、学力に優れ、他の模範となるであろうと認められる者に対し、学費を優遇する特待生制度がある。本校の行う特待生入試の試験結果に基づき特待生・準特待生 A・準特待生 B・準特待生 C を認定する。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公開ページトップ https://www.numasen.ac.jp/public/		
学校評価報告書 https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/202006evaluation		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として実施している。		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な評価項目 <ul style="list-style-type: none"> (1) 教育理念・目標 (2) 教育活動 (3) 教育成果 (4) 学生支援 (5) 教育環境 (6) 学生の募集と受入れ (7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守 (8) 社会貢献・地域貢献、国際交流 ・ 評価委員会の構成 定員：8名 (企業/関連団体：6名 地域・教育関係：2名) ・ 評価結果の活用方法 評価結果について、校長 (責任者) を中心とした運営委員会で改善方策を検討し、可能な範囲で可能な限り早期に改善を実施する。 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 沼津法人会	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	地方団体関係者

静岡県立富士宮北高等学校	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	地域住民
株式会社 ディスタンス・インターナショナル	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
ランアンドケントス株式会社	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
株式会社KTSオペレーション 沼津リバーサイドホテル	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
社会福祉法人 羊之舎恵愛会 恵愛保育園	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
株式会社 雅心苑	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
医療法人社団 真養会 田沢医院	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公開ページトップ https://www.numasen.ac.jp/public/ 学校評価報告書 https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/202006evaluation		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公開ページトップ https://www.numasen.ac.jp/public/ 学校情報 https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2020/07/2020information
